第１６回長門大津畜産共進会の開催

長門農林事務所畜産部
平成 21 年 9 月 7 日

第16回長門大津畜産共進会が平成21年8月28日、長門市油谷の旧人丸家畜市場において開催されました。

当共進会は、長門市の肉用牛関係の組織による長門大津畜産振興協議会（小田保男会長）が、地域内雌牛の改良を確認することにより、優良雌牛の保留を促進し、農家の飼養管理技術の向上を図るため、毎年開催しているものです。

今回は、若牛1区、2区、3区及び産肉能力区の4出品区に、例年より多い述べ67頭（昨年42頭）の黒毛和種の雌牛が出品されました。各区のチャンピオンは、次のとおりです。

若牛１区：日置農業高等学校（日置）出品の「とよゆき」号
若牛２区：上田弘志さん（油谷）出品の「ふくひろかつ」号
若牛３区：尾崎邦彦さん（長門）出品の「おとめ」号
産肉能力区：上田弘志さん（油谷）出品の「ふくしげ」号と「ふくひろかつ」号
グランドチャンピオン：若牛２区の「ふくひろかつ」号
各区の上位４頭は、10月にきらら浜で開催される山口県畜産共進会に出場します。
また、恒例となった女性審査競技では、油谷和牛生産組合宇津賀支部が優勝しました。

肉用牛飼養農家も高齢化が進み、共進会の出品者も同じ顔ぶれが多くなっていますが、定年後や新規に就農し、肉用牛を飼養して間もない農家が優秀な成績を収められたり、２年連続チャンピオンとなった日置農業高等学校、卒業後に就農予定の農業大学校生が参加するなど、明るい話題もみられた共進会となりました。

長門農林事務所は、共進会を通じて牛を飼う意欲がさらに向上し、増頭につながるよう支援していきます。

若牛２区のチャンピオン

女性審査競技の様子